

解 答

- 1 1 うすい水酸化ナトリウム水よう液 ○
理由 Bを60 cm³以上加えても残った固体が増えないことから、Bの水溶液の溶質は固体でないことがわかり、塩酸と決まるから。
- 2 ④, ⑤, ⑥ 3 50 4 3
- 2 1 ウ→ア→イ
2 ア ③ イ ① ウ ② 3 ア ② イ ①
- 3 1 不適当なこと ピンにひび割れが入っている。
芯が長すぎる。
アルコールの量が少なすぎる。
起きると考えられること アルコールがもれて引火する。
炎がピンに当たり、ガラスが割れ引火する。
アルコールの気体に引火する。
- 2 (1) 閉じこめられたアルコールの気体が冷やされ液体となり、ふたの内側の圧力が下がりふたがとれなくなる。
(2) 新しい酸素が供給されなくなるため、燃焼条件の1つが満たされなくなったから。
- 3 (1) ア 二酸化炭素 イ 二酸化炭素, 水蒸気
(2) ア 炎を出さずに赤くなって燃える。 イ 炎を出して燃える。
- 4 水の蒸発に熱が使われ、紙の発火点に達しなかったから。
- 4 1 ア 2 下に落ちる。
3 同じ方向に磁石を何回もくっつけて動かすことをくり返す。
4 水の上に軽い発泡スチロールを浮かべ、その上にぬい針を置く。
- 5 S
- 5 1 (1) ○または× × 正しい言葉や数字 カエル
(2) ○または× × 正しい言葉や数字 大きい
(3) ○または× ○
(4) ○または× × 正しい言葉や数字 4
(5) ○または× ○
- 2 ア 超音波 イ 羊水 ウ 胎盤 エ たんぱく質 オ 酸素
- 6 1 ① ウ ② イ ③ エ
2 (1) 1000000000
(2) ① 1379・14
② 98 ③ 11 ④ 37
(3) 森林
- 3 (1) 水滴がついている。
(2) フラスコ内の水温がより下がり多くの水滴がつく。
(3) 太陽からの熱エネルギー

解 説

- 1 1 塩酸の溶質は塩化水素なので、蒸発させると気体となって蒸発し、残った固体の重さは増えません。したがって、B液がうすい塩酸になり、A液がうすい水酸化ナトリウム水よう液とわかります。
- 2 水酸化ナトリウム水よう液に塩酸を加えると中和反応が起こり、食塩ができます。①は水酸化ナトリウム水よう液だけなのでその固体だけが残ります。②・③は水酸化ナトリウム水よう液があまっているので、中和によってできた食塩と水酸化ナトリウムが残ります。④～⑥のように、完全中和したあとさらに塩酸を加えても反応は起きず、食塩だけが残ります。
- 3 表の②・③から、塩酸が20 cm³増えると残った固体が2 g 増えることがわかります。したがって、完全中和して食塩が15 g できるには、③より塩酸が10 cm³多い50 cm³にすればよいと考えられます。
- 4 50 cm³の塩酸を加えると食塩が15 g できることから、塩酸が10 cm³のとき、食塩は3 g ($15 \times \frac{10}{50}$) できることがわかります。